

消費者教育の重視



新学習指導要領では新たに三者間契約を扱います。キャッシュレス化や成年年齢18歳など、消費者教育を取り巻く状況は大きく変わりつつあります。教科書では、持続可能な社会の構築に向けて、意思決定のプロセスやエシカル消費なども扱いました。

「消費者」マーク

キャッシュレス化や成年年齢18歳など、変わりゆく社会に対応できる消費者の育成を目指しました。関連する内容に「消費者」マークを付けています。

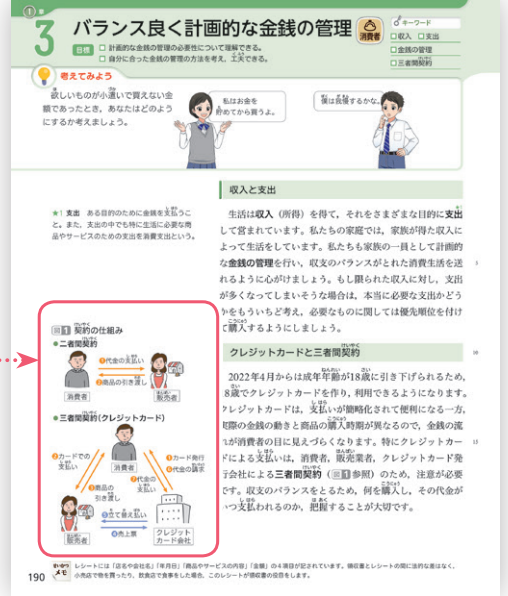
▼責任ある消費者になるために p.201



消費者の権利と責任の内容を日常生活から読み取れる漫画の実習例を取り入れました。

三者間契約の仕組み

イラストを用いて分かりやすく説明しました。また、p.188にはDマークコンテンツ「インターネット通販シミュレーション」があります。クレジットカードを使用したインターネット通販での商品購入を体験できます。



▼Dマークコンテンツインターネット通販シミュレーション



▲バランス良く計画的な金銭の管理 p.190



クレジットカードを用いたインターネット通販の疑似体験ができます。クレジットカードを使用したことのない中学生が、使い方や注意すべき事項を体験しながら学べます。

意思決定のプロセスを重視

生活者として自立するために大切な意思決定能力。主に消費生活で学習する意思決定のプロセスを、食生活、衣生活の学習でも扱いました。繰り返し学ぶことで、意思決定能力が身に付きます。

食生活、衣生活の「選択」に関する意思決定のプロセスでもデザインを統一しています。

▼意思決定のプロセス p.196-197

